

令和８年度に小学校第６学年及び中学校第３学年を対象に実施された、「令和８年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本市の概要をお知らせします。なお、本調査には、本市のすべての小中学校が参加しております。

【結果の概要】

Ⅰ 教科に関する調査

(Ⅰ) 小学校国語

- ・ 目的や意図に応じて、映像や音声、図表、引用した資料などを結び付けながら、伝えたいことや自分の考えを明確にすることができています。
- ・ 文章全体の構成を捉えたり、学年別漢字配当表の漢字を文や文章の中で正しく書いたりすることができるよう努めています。

(Ⅱ) 小学校算数

- ・ 数直線や帯グラフに表された目盛りと数量を対応させ、分数の大きさや割合のおよその大きさを読み取ることができています。
- ・ 二つの数量の関係を表した図や二次元の表について、それぞれが何を表しているかを捉え、必要な数を読み取ることができるよう努めています。

(Ⅲ) 中学校国語

- ・ 話合いにおける一つ一つの発言の意図を捉えたり、言葉のもつ効果を具体的に取り上げて説明したりするなど、着目した言葉を基に自分の考えを明確にして伝えることができています。
- ・ 文章全体を見通し、複数の事例に共通して述べられていることを関係付けてまとめることができるよう努めています。

(Ⅳ) 中学校数学

- ・ 表やグラフに示された二つの数量の関係を読み取り、その関係を式に表したり、答えの求め方を説明したりすることができています。
- ・ 同類項の意味や平行になるための条件、三角形の合同条件など、これまでに学習した用語や図形の性質を正しく理解し、それらを用いて考えることができるよう努めています。

(Ⅴ) 中学校英語

- ・ 学校生活の思い出や普段の様子など日常的な話題について、伝えたいことを一つ選び、体験したことや理由、説明を加えながら、まとまりのある文章を英語で書くことができています。
- ・ 話や文章を最初から最後まで聞いたり読んだりして、全体のあらましを捉えたり、過去形などの語形を正しく用いて書いたりすることができるよう努めています。

Ⅱ 質問紙

(Ⅰ) 小学校児童

- ・ 「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」と答える児童が多く、良好な人間関係の中で安心して学校生活を送ることができています。
- ・ 授業について「自分に合った教え方や教材、学習時間になっていた」と感じている児童が多く、話合いを通して自分の考えを深めるなど、主体的・対話的な学びに前向きに取り組むことができています。
- ・ 国語や算数の記述式の問題に対して「最後まで解答を書こうと努力した」と答える児童が多く、粘り強く学習に向かう姿勢が見られました。
- ・ スマートフォンやゲーム等の使用時間に課題も見られました。学校が休みの日にも計画的に学習時間を確保できるよう、各学校の指導を支援してまいります。

(Ⅱ) 中学校生徒

- ・ 「困っている人を進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけない」と考える生徒が多く、他者を思いやる豊かな心が育っています。
- ・ 授業で ICT を日常的に活用しており、コンピュータ等を用いて情報を集めたり発表資料を作成したりすることに自信をもつ生徒が多く見られました。
- ・ 数学などの記述式の問題に対して「最後まで解答を書こうと努力した」と答える生徒が多く、粘り強く課題に向かう姿勢が本市の生徒の強みとなっています。
- ・ 生徒が自ら学び方を工夫して家庭学習に取り組むことができるよう、各学校における学習方法の指導の充実を支援してまいります。

【本調査結果に基づく改善点】

- 1 自分で考え、友達と学び合う授業づくり
 - ・一人一人の学び方に合わせた指導と、友達と考えを伝え合う活動を組み合わせ、自分で考え、友達と学び合いながら理解を深めていく授業を進めていきます。
- 2 文章や資料の内容やつながりをつかむ力と、基礎を活用する力の育成
 - ・文章や資料、話の一部分だけでなく、全体のおおまかな内容やそれぞれのつながりを捉える力を育てていきます。また、漢字や言葉のきまり、算数・数学の考え方などの基礎を、実際に書いたり説明したりする場面で使えるよう、繰り返し学ぶ機会を大切にしていきます。
- 3 一人一人に応じたきめ細かな指導
 - ・児童生徒一人一人の学習の様子を丁寧に把握し、少人数での指導や理解の程度に応じた指導を取り入れていきます。また、学年の変わり目などの節目に、これまで学んだことを一年間に何度も学び直す機会を設け、確かな定着を図っていきます。
- 4 自信をもって学びに向かう子供の育成
 - ・学習者用端末を日常的に使いこなしている本市の強みや、難しい問題にも最後まで取り組もうとする姿勢を、確かな学力へとつなげていきます。友達に認められる経験や「やればできる」という手応えを積み重ね、安心して学べる場の中で、自ら進んで学ぶ子供を育てていきます。

【本調査について】

- 1 調査の目的
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 2 調査対象 小学校第6学年の児童、中学校第3学年の生徒
- 3 調査内容 (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語（中学校のみ））
(2) 質問調査（児童生徒、学校）
- 4 調査方式 悉皆調査
- 5 調査日 令和8年4月20日（月）～5月8日（金）の期間で実施
※小学校国語・算数、中学校国語・数学は4月23日（木）